

○六月四日（月） 僧悟谷
登山道整備を実施した。



17時15分、無事塩沢登山口に下山、口口会長は先に下山

○天候にも恵まれ、映える
新緑を愛でながら僧悟台へ
向かった。(□□会長は都合。

た。私のお気に入りはチアガールの様なイワカガミだ。

○十一時 草刈機で作業中の□□会長を確認する。

○私は登山道整備なるものは初めてであり、漠とした認識しかなかった。山行中は□□さん常に當時、隨行していた。土嚢袋で補修された登山道を確認した際、これは當会で講じた処置である旨の話をお聞きし、存外の厳しい処置内容に驚愕した。そして膽がながらも、会のコンセプトを理解した

二本松市内先
通路
東北
可
度
刃
方
正

第416号
発行所
郡山市喜久田町
あだたら山の会
編集部

しながら草刈作業を中心

○今般は不慣れな私を
さんはじめ、皆さんにリー
ドして頂いた。安達太良山
の基本情報、花、植物の種

会を通じて、たくさんの事を学び、経験していくたいと考へております。ご指導の程、よろしくお願ひ致し

(六月二十日、十五時四十分
三分、FAX受信)
ます。



水飲み場上で作業、12時7分

○途中、見晴らし若附近に差し掛かると綺麗に借払いされ、文字通り、見晴らしの良い、見晴らし若が再現されていた。□□□□さんはが、この周辺で作業されたいた。

○十七時三十分、□□さん□□さんの待つ塩沢登山口駐車場に到着した。つつがなく作業は終了した。

○私は、今般、□□□さん
の紹介で入会させて頂きました。
身は二本松ですが、二〇一九年まで東奔西走して、家族の事情により、三年半前に帰郷しました。三十七年ぶりです。現在までも登山を楽しんで来ましたが、粗糲流で高い技術や知識は有してはおりません。私にとって登山は生活のトランキライザーでした。今後は

六月五日(月)

(○) 札道標 設置 報告 編集部



道標は30枚、9時22分

五日（月）二本松市都市計画課・観光課は安達太良山湯川渓谷登山道に「せイン看板（丸札道標）」「設置を行った。塩沢スキー場の登山道入口が一番で、終点くろがね小屋が三十番、分数形式の表示で自分の居場所が分かるようになってる。毎年、十一月の降雪期前に取り外され、晚春のこの時期に設置される。今年はくろがね小屋が建替で営業終了のため、例年預かって貰っていた、二十六番以降も昨年末に下ろしたため、三十枚全てを登山口か

ら運ぶ事となった。当日は市役所職員七名・あだたら山の会三名が参加し、市役所に保管されていた道標を設置した。

登山道では、登山口からくるがね小屋迄、「イワカガミ」が例年に無く沢山見られたが、登山口では満開、くるがね小屋近くではツボミと、育つ過程が見られた。

くるがね小屋近くで昼食後、営業終了となつたくるがね小屋も入れて記念撮影。午後四時過ぎには無事塩沢登山口に下山した。



小屋入れて記念撮影、13時53分

六月十八日(日) 十九日(月)

岩手県・焼石岳

幸告



燒石岳山頂、19日、13時58分

六月の月例山行を日光白根山から焼石岳（岩手県、奥州市）に変更し、会員七名と会員友人一名の計八名で焼石岳に行ってきました。

水の名山と東北三名水、銀明
水を存分に味わい、楽しく
安全に登山する。六月十
八日(日)十二時に三本松
I C近くグリーセンター駐
車場に集合。□□さんのハ
イエースに□□□□さん、

山の準備をして八時十五分に登山開始。天候は晴れ、湿度も低く良い山行になりそう。樹林帯を登っていくと、ところどころ木道が設置されているが、登山道は湿地帯の様相。樹林の間か

ある。(焼石観光開発協議会HPより)、休憩後山頂に向けて出発。避難小屋を右手に見て、小さな沢を渡って残雪を登つて行き、さらに進むと雪渓が現れる。軽アイゼンを用意して

くらいで着きますよ。と言
われて一安心。地元の人が
言うのだから厳しい山に間
違いないと納得。



泉水沼、12時44分



中沼から焼石岳

□□さん、□□さん、□□さん、□□の六名が乗車し出発。十二時三十五分に福島市方木田で□□□□□さ

ら沼が見えてきて、中沼に到着。九時。沼に映る青空と山容は美しい。中沼付近から花があらほら、それぞ

きたが、必要なさう。間を開けて慎重に登っていきく。雪渓を登りきつて、左側に横岳を眺めながら進

も、ほとんど車は残ってい
ない。我々が最後の下山者
かなと思いながら、登山靴
を脱いで生き返る。全員、
し、二本松のグリーンセンターに戻ってきたのが十二時五十六分。
参加された皆様大変お疲

